

馬場川通りアーバンデザインプロジェクト（馬場川遊歩道公園）
「日本空間デザイン賞 2024」「令和6年度土地活用モデル大賞」
「2024年度 グッドデザイン賞」「ウッドデザイン賞 2024」受賞

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）が基本・実施設計と工事監理支援を担当した「馬場川通りアーバンデザインプロジェクト」は、“日本空間デザイン賞 2024”（『KUKAN OF THE YEAR』『公共施設・コミュニティ部門 金賞』『サステナブル空間賞』の3賞）、“令和6年度土地活用モデル大賞”（『都市みらい推進機構理事長賞』）、“2024年度 グッドデザイン賞”（『グッドデザイン・ベスト100』）、“ウッドデザイン賞 2024”（『奨励賞（審査委員長賞）』）を受賞いたしました。

群馬県前橋市の馬場川通りは、市道と遊歩道公園が一体となった約200mの道路で、歩車道境界に20cmの段差があり、遊歩道公園は馬場川に柵が設置された親水性の低い空間でした。

本改修は、民間寄付と国内初となるまちづくり分野におけるソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）※及び共助推進型まちづくりファンド支援事業※を活用した公共空間の民間整備事業であり、市の都市再生プラン「前橋市アーバンデザイン」のモデル事業としてウォークアブルな空間整備を行いました。歩車道と馬場川・公園を一体の緑豊かな空間として整備し、舗装をアスファルトから前橋にゆかりのあるレンガに変更するとともに、沿道敷地の一部改修も行い歩車道をフラット化しました。また、馬場川に親しみやすいよう川沿いにデッキとベンチ、柵の機能を持つコーヒーターブル、車いす利用者也使えるフラットデッキ等を整備し、令和6年3月に竣工しました。

当社は、今後も良質な公共空間創出の提供を目指し、全国各地で既存市街地の賑わいや回遊性創出、憩いの場をつくりだすウォークアブル事業、民間活力事業、川まちづくりやグリーンインフラ事業等、様々な事業展開を積極的に進めていく方針です。



整備前



整備後

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL:03-6311-7551 FAX:03-6311-8011
URL: <https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤、丸山、門司

◆受賞概要

日本空間デザイン賞 2024 (『KUKAN OF THE YEAR』『公共施設・コミュニティ部門 金賞』『サステナブル空間賞』)

- ・作 品 名：馬場川通りアーバンデザインプロジェクト
- ・賞 名：KUKAN OF THE YEAR、公共施設・コミュニティ部門 金賞、サステナブル空間賞
- ・カテゴリー：公共施設・コミュニティ空間
- ・U R L：https://kukan.design/award/2024_c10_0145

令和6年度土地活用モデル大賞（都市みらい推進機構理事長賞）

- ・作 品 名：馬場川通りアーバンデザインプロジェクト
- ・賞 名：都市みらい推進機構理事長賞
- ・U R L：<https://www.toshimirai.jp/tochikatuyou/fiscal/awards.html>

2024 年度 グッドデザイン賞（グッドデザイン・ベスト 100）

- ・作 品 名：馬場川通りアーバンデザインプロジェクト
- ・賞 名：グッドデザイン・ベスト100
- ・分 類：公共空間／土木／景観
- ・U R L：<https://www.g-mark.org/gallery/winners/27150>

ウッドデザイン賞 2024（奨励賞（審査委員長賞））

- ・作 品 名：馬場川遊歩道公園
- ・賞 名：奨励賞（審査委員長賞）
- ・分 類：ライフスタイルデザイン部門
- ・U R L：https://www.wooddesign.jp/slaker_news/upload/files/attach_file1_2024111505a95e49d9661be81b77fcfb16038225406e7ac.pdf

◆各賞の概要、用語説明

日本空間デザイン賞 <https://kukan.design/>

2019年に一般社団法人日本空間デザイン協会（DSA）と日経デザインが共同で設立した、優れた空間デザイン作品を表彰する賞です。過去の「DSA 空間デザイン賞」と「日本ディスプレイデザイン賞」を統合し、建築、インテリア、ランドスケープ、エキシビション、商業施設など幅広い分野を対象としています。生活環境の質の向上や地域社会への貢献が評価基準であり、社会的影響力、独創性、持続可能性が重視されます。空間デザインの発展を通じ、都市環境や生活空間の質を高め、持続可能な社会づくりに寄与することが目的です。

土地活用モデル大賞 <https://www.toshimirai.jp/tochikatuyou/>

一般財団法人都市みらい推進機構が主催し、地域の課題解決や活性化に寄与する土地活用の優れた事例を表彰する賞です。公共・民間の両方を対象とし、土地の特性を最大限に活かして地域経済や社会に貢献したプロジェクトが評価されます。選考では、持続可能性、創造性、地域貢献の観点が重視され、受賞プロジェクトの発表を通じて、土地活用の先進事例を全国に広めることを目的としています。これにより、他地域での実践的な活用の促進を図ります。

グッドデザイン賞 <http://www.g-mark.org/>

1957年に創設された日本を代表するデザイン評価・推奨制度で、公益財団法人日本デザイン振興会が主催しています。建築、プロダクト、サービス、ビジネスモデルなど多岐にわたる分野が対象で、「人々の生活の質向上」や「社会の持続的な発展」に貢献するデザインが評価されます。デザインの美しさだけでなく、機能性や革新性、環境やユーザーに配慮した設計が重視されるのが特徴です。受賞作品には「G マーク」が授与され、社会に優れたデザインを広めることで、新しい価値創造と生活環境の向上を目指しています。

ウッドデザイン賞 <https://www.wooddesign.jp/>

木の良さや価値を、デザインの力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を募集・評価し、表彰する顕彰制度です。生産から消費に関わる人同士のマッチングを進め、次のイノベーションにつながる活動も展開し、日本の木づかい製品や取組の消費者認知と市場の拡大を目指します。

ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）とは

行政が民間事業者に業務を委託し、資金提供者から調達された資金をもとに事業者が実施・提供したサービスが生み出す成果を客観的な指標に基づき評価して、その水準に応じた報酬を支払う社会的課題の解決のための仕組みです。本プロジェクトでは、まちづくり分野では全国で初めて SIB を導入しました。

共助推進型まちづくりファンド支援事業とは

国土交通省は、活動や取組自体への共感を持つ人々の寄付（ふるさと納税）等の「志ある資金」による資金拠出を受けながら、一定エリア内で自立的に行われる民間まちづくり事業に対し、一般財団法人民間都市開発推進機構のまちづくりファンドの仕組みを通じて助成を行う「共助推進型まちづくりファンド支援事業」を令和4年度より実施しています。

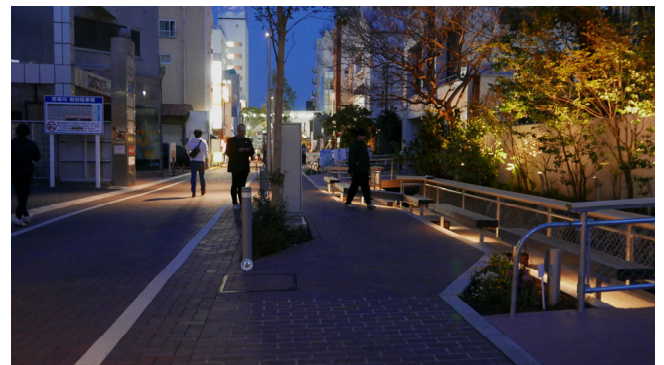
本プロジェクトに際し前橋市は、「共助推進型まちづくりファンド支援事業」を活用した全国第1号事例となる「前橋市アーバンデザインファンド」を設立しました。市内に拠点を置く企業家有志からの寄付金と、民間都市開発推進機構からの拠出金をもとに設立され、都市利便増進協定等に基づき民間事業者が主体となって事業を実施しました。



整備後の馬場川通りの様子



〈川沿いに整備したデッキ 左：1段デッキとコーヒーテーブル、右：二段デッキとフラットデッキ〉



〈歩車道フラット化した歩車道と店舗のしみだし〉

〈ベンチと植栽の演出照明〉

事業名 馬場川通りアーバンデザインプロジェクト
所在地 前橋市千代田町2丁目、4丁目、本町2丁目
用途 遊歩道公園、準用河川、道路、公衆トイレ
事業主 前橋市
都市再生推進法人 前橋デザインコミッション

設計 デザイン統括：ランドスケープ・プラス
土木設計：オリエンタルコンサルタンツ
トイレ棟デザイン：ジャスパー・モリソン
トイレ棟建築設計：高濱史子建築設計事務所
施工 宮下工業